

どうする？ 鎌倉

「生涯安心して暮らせる鎌倉」を実現する為に

3つのやること

強く

～強い経済・財政基盤を確立する～

安定的且つ持続的に事業費を捻出できる強い経済基盤と財政基盤の確立

やさしく

～社会福祉の充実～

すべての市民が安心して幸せに暮らせる福祉の充実

美しい

～自然・環境の保護～

「美しい心」を育み、歴史的風土、自然を保護、整備、維持

強く

～強い経済・財政基盤を確立する～

市民の皆様が必要とする事業を行うためには、安定的且つ持続的に事業費を捻出できる強い経済基盤と財政基盤の確立が必要になります。

➤ 地場産業の強化と開発

新たな観光資源 : やぐら群、弓道、稲村ヶ崎温泉等、「体験」を通して日帰りではなく宿泊を促進する
名産品 : 鎌倉彫をはじめ伝統を継承しつつ、一方で現代に生かせる商品開発を推進する
産業・文化の創造 : かつて文豪達が愛した鎌倉の復活。芸術文化に関するセミナーやスクールの設立

➤ 自営業者への支援強化と地域連携

集客力向上 : 各業態、各商店で一品「名物」を作り、一点突破で売り出す(例: 横浜サンマーメン等)
地域連携策 : 市がバックアップしSNSを利用して発信、市と連動したイベント開催
年金問題 : 自営業者の年金補助支援

➤ ふるさと納税事業の推進強化

返礼品強化 : 「体験」を強化しパッケージとして商品化
販売促進強化 : 自営業者への支援強化で高めたブランド、商品の販促強化

➤ 人口増加策(開発地域を限定した土地開発や既存の住宅整備)

人口流入の促進 : 子育て支援を強力に推進、空き家の有効利用、市営住宅の充実
人口流出の防止 : 高齢者の交通手段強化、歩道、階段、手すりの設置推進

出来る出来ないの発想から、「どうする？」の発想で実現へ

やさしく

～社会福祉の充実～

お年寄り、お子様、障がいを持つ方、指定難病に罹られている方、
また、そのご家族が安心して幸せに暮らせる福祉の充実

➤ 子育てにやさしい街づくり

待機児童ゼロ	: エリア毎の人口比率に応じた保育園の設置と保育士の確保
保育料	: 第一子からの保育料完全無償化
小中学校給食費	: 無償化

➤ お年寄りが生き生きと安心して暮らせる基盤ある街づくり

介護施設	: 特別養護老人ホームの新設(待機人数最大で389.0%、最低で112.0%)
コミュニティ	: 公会堂・自治会館の整備と老朽化対策、ボランティア紹介等活躍の場の提供
交通手段	: オムニバスタウン計画の推進とワンボックスカーによる循環バス推進

➤ 障がい、指定難病を抱えられる方への支援充実

障がい者施設拡充	: 障がいを持つ方とその親御さんの高齢化に伴い一緒に入居できる施設の設立
指定難病患者	: 指定難病により仕事が制限される方への支援・サポート
活躍の場の充実	: 施設等で作成する物品の商業化(ショップの開業等)により、収入の仕組みを作る

➤ 看護・介護・福祉士・保育士への支援

サポート側への支援: 献身的に支援して下さる従事者が心身共に健やかに働ける様、インセンティブ支援

出来る出来ないの発想から、「どうする?」の発想で実現へ

美しい

～自然・環境の保護～

「美しい街」を実現させるために必要な「美しい心」を育み、歴史的風土、緑豊かな自然を保護、整備、維持

➤ 美しい心を育む教育の場の創生と充実

カリキュラムの充実：小中学校の授業に鎌倉の歴史や文化、地場産業に関するカリキュラムを導入
セミナー・勉強会：市の制度、政策、政治、経済等の情報・知識を深めるセミナー・勉強会を開催
芸術・文化の場：文学、芸術等、鎌倉という歴史ある場所で学べるスクール等の設立

➤ 緑地/公園の整備・拡充

緑地保護：緑地保護の推進。各ボランティアグループの連携強化、緑地保全会議の開催
公園の整備・拡張：狭い公園が多く、子どもとお年寄りが共存できる公園の整備推進
宅地造成制限：緑地を切り崩しての宅地造成の制限強化。崖崩れ、土砂流出の防止を推進

➤ 歴史的風土の保存と情報の整備

歴史風土の保全：認知度の低い歴史的遺跡(新たなスポット)の発掘・整備・保存
無形文化の体験：弓道、流鏑馬(疑似体験)、鎌倉彫等の体験を通し、無形文化にスポットをあてる
情報の整備：歴史的風土を観光資源活用だけではなく地域の文化資産として再編・整備

➤ 防災対策(優先順位を決め早急に対応)

防災インフラ整備：建築物の耐震化、がけ・急傾斜地対策、避難所体制の整備等を更に推進
ライフライン確保：現在多数残っている使われていない井戸を整備し生活用水を確保

出来る出来ないの発想から、「どうする？」の発想で実現へ